

NEAR News

一つの北東アジア、一つの共同体 NEAR | One Northeast Asia Region, One Community NEAR

2017. 5-6

Vol. 74



中国・湖南省 張家界

今月の動静

NEARの活動 | 事務局ニュース | 会員自治体の動静 | 会員自治体の行事日程(5~6月)

経済コーナー

中国・湖南省

企画取材

2017 NEAR実務者ワークショップ



北東アジア地域自治体連合
The Association of Northeast Asia
Regional Governments

NEAR News

「NEAR News」は、会員自治体が共に作るNEARの公式ニュースレターです。NEARの活動状況や会員自治体の動静、国際動向、寄稿、お知らせなどの内容を掲載し、隔月で発行しています。(ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.neargov.org/jp/>)

NEAR Newsではいつでも、北東アジア地域に関心を持つ方からの寄稿をお待ちしています。掲載を希望される場合は、巻末の事務局連絡先までお問い合わせください。



Vol. 74





北東アジア地域自治体連合(NEAR)とは

北東アジア地域自治体連合(NEAR)は、北東アジア地域の共同発展を目指して1996年に設立された、広域自治体間の協力機構です。

日本、中国、韓国、モンゴル、ロシア、北朝鮮の6か国から77自治体に参加し、経済・人文、教育文化交流、環境、防災、国境地区協力、科学技術、観光、海洋漁業、鉱物資源開発・調整、エネルギー・気候変動、女性・児童、生命・医療産業、農業などの様々な分野で、幅広い交流協力プログラムを展開しています。

また、欧州最大の地方政府協力機構であるAER(欧州地域会議)、R-20(気候行動地域)、ICLEI(持続可能性をめざす自治体協議会)などの国際機構とパートナーシップを締結し、北東アジアを越えた世界中と繋がる国際協力ネットワークを構築しています。

NEARの門戸は開かれています。

NEARの設立趣旨に賛同する北東アジア地域の広域自治体はどこでも、総会の承認を経てNEARに加入することができます。また、北東アジア地域以外のアジア地域の広域自治体は、準会員として加入することができます。



北東アジア地域自治体連合
The Association of Northeast Asia
Regional Governments

NEAR活動

第15回防災分科委員会の開催(3月6日~9日)



3月6日から9日まで、兵庫県神戸市・三木市で第15回防災分科委員会が開催された。

同分科委員会は、会員自治体担当者の防災対応力強化及び北東アジア地域の減災を目的として2002年から毎年開催されている、NEARの代表的な分科委員会である。

5か国17自治体に参加した今回は、兵庫県の防災施策説明をはじめ、アジア防災センター(ADRC)、国際復興支援プラットフォーム(IRP)との意見交換や、各会員自治体における防災システムの紹介、「人と防災未

来センター」等の防災関連施設の視察が行われ、その充実した内容は参加者から高い評価を受けた。

全哉垣NEAR事務総長は、「兵庫県の実践的な防災マニュアルや行政システムに感動した。他の自治体もこれを参考にして各地域の実情に合わせた運用を行い、効率的な災害対応の一助としてほしい。」と述べた。

NEAR実務者ワークショップの開催(4月19日~21日)

4月19日から21日まで、韓国・済州特別自治道でNEAR実務者ワークショップが開催された。

同ワークショップは、会員自治体間の交流協力方案を模索し、実務担当者間のネットワークを構築することを目的として、2006年から毎年実施している。

ワークショップでは、事務局から2016年業務実績、2017年度事業計画が説明されるとともに、会員自治体による発表、NEARの懸案事項についての討議が行われた。(詳細は企画取材コーナーをご覧ください。)



事務局ニュース

兵庫県副知事と面会

3月6日から9日まで、兵庫県で第15回NEAR防災分科委員会が開催。これに合わせて6日、全哉垣NEAR事務総長が金澤和夫兵庫県副知事と面会し、NEAR事業の説明を行った。

全事務総長は、防災分科委員会の成功を祝うとともに、2016年9月に韓国・慶尚北道慶州市を震源とする大規模な地震が発生したことに触れ、「防災への関心が高まる中で、兵庫県による質の高い防災分科委員会のプログラムは会員自治体にとって非常に大きな経験になる」と述べた。

金澤副知事は「NEAR事務局による翻訳・通訳業務の支援により無事に分科委員会を開催することができた。来年はより多くの会員自治体に参加できるように努力したい。」と述べた。



鳥取県庁を訪問し意見交換を実施

3月9日、全哉垣NEAR事務総長が鳥取県庁を訪問し、遠藤俊樹交流推進課長と面会。NEAR事業の説明を行った。

全事務総長は、「鳥取県はNEARの創立メンバーであり、地方の国際

化に積極的な団体として多くの会員自治体の手本となっている。今後
もNEARの様々な活動に参加し、北東アジアの発展に積極的に寄与して
もらいたい」と述べた。

遠藤課長は、「4月に開催される実務者ワークショップにも担当者を
派遣するなど、NEARの事業に積極的に参加できるように努力したい。
また、NEARが北東アジア地域の経済発展における実質的な交流窓口の
役割を果たしてくれることを期待している」と答えた。



中国・琿春市共産党委員会常務委員らが事務局を訪問

3月23日、中国・吉林省琿春市共産党委員会の朴成哲常務委員をはじめとする訪問団がNEAR事務局を訪問。NEARと同市との協力方
案について、全哉垣事務総長と意見を交わした。

同市は2009年に中国国務院から「豆満江区域国際協力モデル区」に指
定されており、近年、ロシアや北朝鮮との国際貿易・国境地区観光の
主軸として浮上してきている。

朴常務委員は、NEARを通じた北東アジア6か国の地方自治体との交流に
興味を示し、急速に発展する同市の地理的利点や投資現況を紹介した。



東国大学校で特別講義を実施

3月24日、韓国・慶尚北道の東国大学校慶州キャンパスで、全哉垣
NEAR事務総長が「北東アジアの主要情勢と私達が行くべき道」と題し
て特別講義を実施。約300名の学生が聴講する中、自身のNEAR事務総長
や外交官としての勤務経験を活かし、北東アジアの地政学的な意味や情
勢の変化、留学の現況について、実例を元に分かりやすく説明した。

全事務総長は、「5年の準備期間を経て一日に80cmも伸びる孟宗竹
のように、皆さんも爆発的な成長に備える気持ちで辛抱強く着実に努
力すれば、必ず良い結果が訪れる。その日を待ちながら、未来に向け
て準備する学生になってほしい。」と述べた。



島根県文化国際課長らが事務局を訪問

4月18日、日下純子島根県文化国際課長らが事務局を訪問し、NEAR
事務局職員と意見交換を行った。

南建NEAR事務局企画広報部長は、「事務局へのご訪問を歓迎すると
ともに、創立時からNEARの発展を支えていただいた島根県に感謝す
る」と述べた。

日下課長は、「島根県にとっても、NEARの枠組みが北東アジア地域
における国際交流の助けになっている。今年も8月18日から23日ま
で、第17回教育・文化交流分科委員会(北東アジア交流の翼 in しまね)
を開催する予定であり、事務局からの参加と会員自治体への積極的な
広報をお願いしたい」と述べた。



会員自治体の動静

中国－河南省

第9回山東シルバー産業博覧会を6月に開催

山東省高齢化工作委员会弁公室、外事弁公室、観光発展委員会、工商業連合会、貿易促進会が共同で主催する第9回山東シルバー産業博覧会が、2017年6月16日から18日まで、済南舜耕山荘(SHUNGENG HILLVIEW HOTEL)国際会議センターで開催される。

同博覧会の予想規模は15,000㎡であり、約500の国際標準規格ブース(9㎡)が設置される予定。専門展示エリアと特別展示エリアに分かれており、専門展示エリアには「科学技術と養老」、健康養生、医療機器、住宅建築、老年サービスなどのテーマ別ブースが設置される予定。特別展示エリアには、海外からの参加者向けに「長寿の故郷」をコンセプトとした展示、山東省以外の中国広域自治体と山東省内各市の展示が予定されている。また、シルバー関連の居住地、製造業、サービス業、家庭サービス、ヘルス産業等の分野と老年生活と密接に関係する医療、商業、通信、ネットワーク、教育、文化、体育、観光、出版、金融、保険、物流、整備などの分野からも参加する予定である。

1. 展示参加費及び優待内容

(1) 参加費

■ 海外企業

- 標準ブース: 700USドル(標準規格)、850USドル(標準規格内で改造したブース)
- 用地使用: 80USドル/㎡(最小36㎡から賃貸可能、参加企業が自身で設計・装飾)

(2) 2017年特別割引

■ 海外企業

- 標準ブース: 700USドル(標準規格)、850USドル(標準規格内で改造したブース)
- 用地使用: 無料

2. 付帯行事

シルバー博覧会の開催期間中、山東シルバー産業サミットフォーラム、シルバー産業創業大会、海外企業商談会等の関連イベントが開催される予定。

3. 登録及び連絡先

参加を希望する企業は、2017年5月10日までに下記の担当者に連絡し、参加登録手続きを行う。その後、ホームページ(<http://www.zglbh.com.cn/>)で「第9回山東シルバー産業博覧会参加登録票」をダウンロードし、作成する。

担当者: JINAN BO SHANG EXHIBITION

Ms. Zheng Xiaoli

電話: +86-531-86084688

FAX: +86-531-86088869

携帯電話: +86-15668412370

E-mail: jnbszxl@163.com

日本－兵庫県

ひょうごゴールデンルートを設定し交流の拡大を図る

兵庫県では、地域創生を本格化させるため、交流人口の拡大に向けた取組を強化します。

日本のほぼ真ん中にあり、北は日本海、南は瀬戸内海や太平洋に面した兵庫県は、農業・漁業・林業が盛んな地域、自然豊かな地域、古くからの文化や歴史、また重工業や電子・電気産業、サービス産業が盛んな地域など、個性溢れる地域が多くあり、「日本の縮図」と言われています。

この度、世界との交流拠点・神戸、世界遺産・姫路城、浴衣で外湯巡りが楽しめる城崎温泉といった海外の方々にも人気がある県内観光地を結ぶルートを「ひょうごゴールデンルート」として提案し、外国人旅行者の更なる誘客につなげます。

個人旅行者向けには、観光施設等の割引サービスが付いたオンライン情報誌を作成するほか、団体旅行者向けにはバス旅行の助成枠を設定して、アジアの現地窓口として新たに設置する「ひょうご国際観光デスク」などを通じて活用をPRしながら、「ひょうごゴールデンルート」の魅力を発信していきます。

開港150年を迎える神戸港を中心に発展してきた兵庫の国際性に、更なる磨きをかけていきます。



日本－島根県

島根県で活躍する北東アジア地域の国際交流員

日本では、地域レベルでの草の根の国際化を推進することを目的として、地方自治体などが海外の青年を招致し、国際交流や外国語教育に携わる「JETプログラム(The Japan Exchange and Teaching Programme)」を実施しています。現在、日本全国約1,000の地方自治体において、

40か国・約5,000人の青年が活躍しており、世界各国からも大規模な国際的人的交流として高く評価されています。

島根県では、友好交流を進める北東アジア地域の中国、韓国、ロシアのほか、欧米からも青年を招致しています。彼らは、1～5年の任期中、国際交流員として県内各地の学校や公民館などで自国の伝統文化や歴史、言語、料理、日常生活などを紹介するイベントや講座を企画・実施したり、NEARをはじめとする国際会議や外国からの賓客来訪時の通訳などを行っています。

去る3月には、島根県の姉妹・友好自治体である寧夏回族自治区及び吉林省出身の国際交流員2名が任期を終えて中国へ帰国しましたが、帰国前には溝口善兵衛知事から「遣島使(Shimane Friendship Ambassador)」に任命され、これからも島根県との友好交流の架け橋として活躍してくれることが期待されています。

また、4月からは寧夏及び吉林から新たに2名が国際交流員として着任し、早くも県内でのイベントなどで活躍しています。



韓国－慶尚北道

2017年に慶尚北道内で計19の国際スポーツ大会を開催



4月に慶州市で行われる「第26回桜マラソン大会」には、40か国から約15,000人(国内13,000人、国外2,000人)が参加する。桜が満開の慶州市・普門観光団地及び市内一帯を走りながら、美しい風景を楽しむことができる。また、国内外から多くのマラソン選手とマラソン愛好家が参加することで、地域経済活性化に大きく寄与していると評価されている。

5月に金泉市で行われる「2017 ATP国際男子チャレンジャーテニス大会」は15か国から延べ約5,000人が参加する大会であり、世界ランキング上位の選手達も多数参加する。

8月に盈徳郡で開かれる「2017国際中等(U-15)サッカー大会」には、世界12か国から約20チーム、600名の選手(国内250名、国外350名)が参加する。各国の名誉をかけて技量を競うFIFA公認の中等国際サッカー大会であり、国内サッカーのレベル向上と青少年サッカーの発展に寄与するとともに、観光オフシーズンである夏に開催することで地域経済の一助となるが見込まれる。

この他にも、蔚珍コリアカップ国際ヨット大会、慶州国際マラソン大会、聞慶ITF国際男女テニス大会、安東カップコリア国際ボーリング大会、尚州干し柿国際マラソン大会、2017栄州ツール・ド・コリアなど、14の国際スポーツ大会が慶尚北道内で開催される。

ソ・ウォン慶尚北道文化観光体育局長は、「2017年に多くの国際スポーツ大会を誘致できたのは、道と市・郡のスポーツ団体が活発に活動した結果だ。国際スポーツ大会や海外宿舎の誘致は地域経済活性化に大きく貢献するものであり、今後も慶尚北道の優秀なスポーツインフラ施設を活用し、スポーツマーケティングに全行政力を集中させたい。」と述べた。



モンゴル – ドルノゴビ県

ドルノゴビ県文化観光週間行事の開催

4月22日から24日まで、中国・内モンゴル自治区エレンホト市で「ドルノゴビ県文化観光週間行事」が開催された。開幕式にはエンフトゥヴィシンドルノゴビ県知事、トゥメンバヤル県議会議長、エレンホト市長のほか、ドルノゴビ県内歌劇団の俳優や企業関係者らが出席した。

期間中は、ドルノゴビ県のビジネス商談会や博覧会、首長の意見交換、ドルノゴビ県歌舞団とエレンホト市歌舞団による共同公演が行われた。また、内モンゴル自治区エレンホト市とドルノゴビ県ジャミンドゥ郡の観光地開発におけるMOUが締結された。



ロシア – クラスノヤルスク地方

クラスノヤルスク経済フォーラム2017「ロシアの経済：2018～2024」

4月20日から22日まで、ロシア・クラスノヤルスク地方で「第14回クラスノヤルスク経済フォーラム」が開催された。今年のテーマは「2017年から2025年までのロシアの持続的な発展の展望」であり、今後10年間のロシアの社会・経済、技術開発の可能性について参加者が議論した。

フォーラム初日は「ロシアの経済」をテーマに2017年から2025年までのロシア連邦政府の総合計画について、2日目は「ロシア産業革命」をテーマにロシアの現代技術管理と労働生産性への影響について、それぞれ議論した。

2017年は環境の年であることから、プログラムでは環境をテーマにした討論も行われた。

また、フォーラム開催期間中にはビジネス、学界、政府機関間で様々な協力が締結された。



モンゴル – ザブハン県

遊牧文化フェスティバル2017の開催

ザブハン県では、モンゴルの遊牧文化、伝統、風習を外国人観光客に紹介するため、7月23日から25日まで、「遊牧文化フェスティバル2017」を開催する。詳しい内容はポスターのとおり。また、問合せはEメール(JBN_MGL@yahoo.com又は khosbaya-zavkhan.gov@gmail.com)にて。

Welcome to ZAVKHAN PROVINCE

Nomadic Cultural festival

"NOMADS CULTURE FESTIVAL" 2017

The administration of Zavkhan province of Mongolia will organize this event for the purpose of introducing Mongolian nomadic culture, traditions and customs to foreign and domestic tourists, providing them with an opportunity to physically get familiar with Mongolian nomadic culture and developing the sustainable tourism which promotes environmentally friendly and socio-economically efficient products.

Let's travel through nomads culture in the natural environment

OPENING OF THE "NOMADS CULTURE FESTIVAL"

23 July 2017 (day 1)
10:00-12:00 Nomads parade, traditional art and culture events showing nomadic culture festival

FESTIVAL OF SMALL CATTLE (SHEEP AND GOAT)

12:00-16:00 Folk handicrafts show, traditional way of showing rituals, saying ecology, competition of sheep wool cutting, bending or beating wool, laying together sheets of wool, rowing make felt, building ropes with wool
16:00-18:00 Connect ewe sheeps and making show contest
20:00-23:00 Theatrical show of the nomads culture demonstrating local community's traditions and rituals of folk art

24 July 2017 (day 2)
10:00-13:00 Yak competition: Yak show contest, Loading up on yak, Nice yak-cow hybrid, Bullock, Coope with yak, Yak polo
13:00-18:00 Camel show, selection of two camel, relay race of loading up on and loading off a camel
20:00-23:00 Fire festival: round dance, folk art festival

25 July 2017 (day 3)
STATE LEVEL COMPETITION OF SKILLFUL LASSO HOLDERS, STICK HOLDERS AND BRONCO TRAINERS
10:00-18:00 Horse show, competition: Lassoing horses, catching horses with stick, grabbing stick, lassoing bronco, selection of couple with nice horses, amateur horse competition

PROGRAM OF OTHER EVENTS TO BE ORGANIZED DURING THE FESTIVAL

23 July 2017 (day 1)
12:00-16:00 National wrestling: selected 64 wrestlers shall take place

24 July 2017 (day 2)
14:00-16:00 National archery: Soum and local communities archers shall participate
14:00-16:00 Cup shooting: Soum and local communities archers shall participate
19:00-20:00 Mongolians in del: National costumes show

25 July 2017 (day 3)
10:00-17:00 Trade exhibition: Handicrafts and souvenirs made by local community members with livestock based raw materials
15:00-18:00 Male parents trade show every day

4 TYPES OF CATTLES HERDERS

Herders camps shall be located at purposely designed sites and nomadic everyday activities shall be carried out daily

Horse herders camp: catching horses and getting interested people ridden, milking mares, holding bare back, beating turnips, denting, traditional song game contest, foal race, bucking broncos

Camel herders camp: Making female camel, soothing & caressing female camel rejected in calf, meeting someone who is coming, moving from one place to another, building ger

Cow and yak herders camp: milking cows, getting cows udder to be filled with milk, moving from one place to another, meeting someone who is coming with loads, building ger

Small cattle: making stitches with wool on the map, beating wool, playing national games

ORGANIZER: Khar Nuur, Erdenekhairkhan soum
2017.07.23-25



May

2017. 5

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	・自治体: 中国 湖北省 ・行 事: 2017第4回武漢国際テーマパーク・観光コース展示会 ・期 間: 5/12~14 ・場 所: 武漢市	12	13
14	・自治体: 韓国 江原道 ・行 事: 2017平昌グローバルオリンピックズマンカンファレンス ・期 間: 5/16~19 ・場 所: 平昌市 ・連絡先: 江原道庁 (T) +82-33-249-2385 (E) kops@korea.kr	16	・自治体: 韓国 仁川広域市 ・行 事: 2017仁川国際女子チャレンジャーテニス大会 2017 Incheon International Women's Challenger Tennis ・期 間: 5/14~21 ・場 所: ヨルウムルテニス競技場 ・連絡先: (T) +82-32-440-4952 (E) wwokky@korea.kr	18	・自治体: 韓国 仁川広域市 ・行 事: FIFA U-20ワールドカップ・コリア 2017 FIFA U-20 World Cup Korea Republic 2017 ・期 間: 5/20~6/11 ・場 所: 仁川サッカー専用競技場 ・連絡先: (T) +82-32-440-1534 (E) jrpark0508@korea.kr	20

June

2017. 6

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
			・自治体: 韓国 釜山広域市 ・行 事: アート釜山 ・期 間: 6/1~5 ・場 所: BEXCO ・連絡先: 釜山広域市 文化芸術課 (T) +82-51-888-5035	1		
・自治体: ロシア アルタイ地方 ・行 事: 国際青年経営フォーラム「アルタイ、成長地域」 ・期 間: 6/4~10 ・場 所: ペロクリハ市 ・連絡先: アルタイ地方 教育、青年政策局 (T/F) +7-3852-35-30-36 (E) altaisport@list.ru	5		7	8	9	10
				15	16	17
・自治体: 韓国 全羅北道 ・行 事: 撫州世界テコンドー大会 ・期 間: 6/24~30 ・場 所: 撫州国立 跆拳道園 ・連絡先: 2017撫州WTF世界テコンドー選手権大会組織委員会 (T) +82-63-226-7611 (E) phil0411@korea.kr	26	20	21	・自治体: 韓国 大邱広域市 ・行 事: 大邱国際ミュージカルフェスティバル Daegu International Musical Festival(DIMF) ・期 間: 6/23~7/10 ・場 所: 公演場及び大邱市内 ・連絡先: (T) +82-53-803-3794 (E) borrisw@daegu.go.kr (H) www.dimf.or.kr	23	
		27	28			

CHINA HUNAN

”

湖南省は豊かな資源を有していることから、昔から「魚米之郷(魚と米が豊富な土地)」「非鉄金属の故郷」「非金属鉱物資源の故郷」「観光名勝地」と呼ばれており、淡水資源が豊富で森林率が総面積の57.34%に達する。



中国・湖南省

中国の代表的な淡水湖である洞庭湖の南に位置していることから「湖南」と呼ばれるようになった湖南省は、面積21.18万km²、人口は7,200万人で、13の地級市、1つの州(湘西土家族苗族自治州)、122の県級行政区で構成されている。

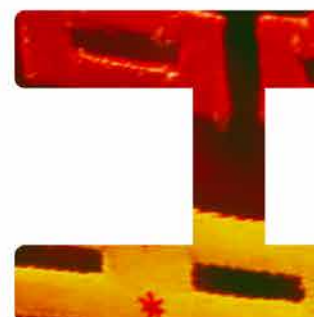
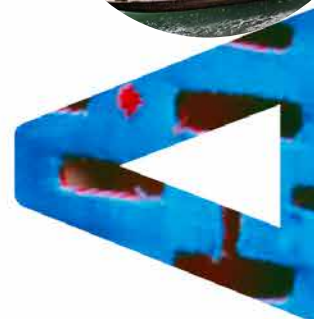
悠久の歴史と輝かしい文化を持つ湖南省は、多くの人材と英雄を輩出し、中華人民共和国の主要創設者である毛沢東主席の故郷としても有名である。

湖南省は豊かな資源を有していることから、昔から「魚米之郷(魚と米が豊富な土地)」「非鉄金属の故郷」「非金属鉱物資源の故郷」「観光名勝地」と呼ばれており、淡水資源が豊富で森林率が総面積の57.34%に達する。世界自然遺産の張家界、邵陽崑山、世界文化遺産の老司城と22の国家級観光名勝地があり、毛沢東の故郷である韶山と岳陽楼、衡山、鳳凰古城、千年書院としても知られる岳麓書院などの名勝地が有名である。

湖南省は地理の要衝に位置しており、交通も便利である。東部の沿海地域と西部の内陸地域の中心に位置し、中国の東西南北を結ぶ役割を担っている。省内に建設された高速鉄道と高速道路の長さは、中国内でもトップに挙げられる。

経済発展状況が比較的優れた地域であり、湖南省の農産品は中国内でも大きな比重を占めている。鉄鋼、装備製造、電子情報、食品加工などの産業が優れており、たばこの生産や文化産業も指折りである。科学技術革新分野の成果としては、スーパーハイブリッド米の天河1号と天河2号、スーパーコンピューター・システムや中低速リニアモーターカーなどが代表的である。

湖南省では産業構造と経済発展方式の転換に重点を置き、「地域内総生産、一人当たりGDP、企業の運営効率」を向上させるとともに、新たな形成の工業化、都市化、情報化、農業の近代化、グリーン化などを同時に推進している。

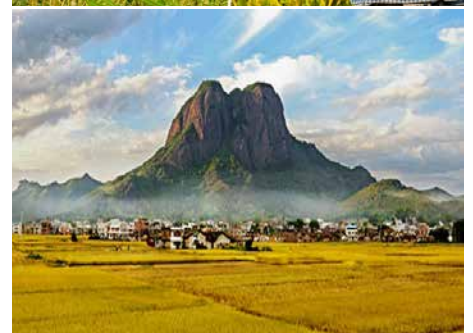


袁隆平農業ハイテック 株式会社

「ハイブリッド米の父」と呼ばれる袁隆平の名を冠した会社であり、同氏が名誉理事長を務める中国種子業界の先頭企業である。「農業が基本である」との国家発展戦略に歩調を合わせ、世界的に誇る種子メーカーに生まれ変わるため、総合的な農業サービスと解決策を顧客に提供することを会社のビジョンとしている。

中国初の科学研究、生産、加工、販売、サービスなどの総合的なシステムを備えた企業の一つであり、交配種の稲からトウモロコシ、野菜、小麦などの種子産業を中心に、綿、油菜等の分野まで拡大している。中国でいち早く産業化に成功した種子企業で、ハイブリッド米の市場占有率は世界1位、トウモロコシの種子でも国内トップである。また、交配種唐辛子の種子の補給面積でも国内1位であるほか、キュウリの育成も世界で指折りである。

同社は、ハイブリッド米の優秀性を基に、企業の国際化を推進している。現在、フィリピン、パキスタン、インドなど、多くの国に研究開発機構を設置し、フィリピン、インド、東ティモールなどで子会社を設立、40以上の国・地域との貿易協力関係を構築した。「ハイブリッド米外交」の看板を掲げるため、熱心に取り組んでいる。現在までにアジア、アフリカ、ラテンアメリカの60以上の開発途上国を支援するため5,000人の農業技術人材を育成し、10件以上の海外技術支援協力プロジェクトを担当した。



中連重科株式会社



中連重科(ZOOMLION)株式会社は、1992年に設立された中国の代表的な重機建設機械メーカーである。保有資本は77.06億元、生産品目は1,000種類を超える。重機建設機械と環境保護関連機械では国内1位であり、農業機械分野では3位に位置している。また、コンクリート関連部門・クレーン機械では世界2位である。

中連重科は、中国の建設機械業界で海外資本を統合する新しいステージを切り開いた。良質な資本を活用して会社の規模を拡大し、グローバル化された製造・販売・サービスネットワークを構築している。イギリスのPowerMole社、ドイツのM-TEC社に加え、2008年には世界3位のコンクリート機械製造社であるイタリアのCIFA社を買収し、当該分野における世界的なリーダーとなった。これらのM&Aは、モデル事例としてハーバード大学の講義でも引用された。

また、年間営業収入の5%を研究開発費に投入することで年間平均300項目の新技術、新製品を開発しており、これが同社の年間営業収入の50%を超える貢献となっている。会社の堅固な研究開発力を基に、数多くの世界1位を創出した。例えば、世界最長のコンクリートポンプ車、最高の起重能力を持つクローラークレーン、世界最大のタワークレーン、世界で最も高い場所まで到達する消防車、世界最高重量のアスファルト振動ローラーなどである。

2016年9月、中連重科は再び「アジア500大ブランド企業」のリストに名を連ね、133位となった。「革新」と「国際化」を持続的に推進し、安定的な高速成長を維持していくことで、装備製造分野の先頭グローバル企業へと成長していくだろう。

NEAR実務者ワークショップ開催



4月19日から21日までの3日間、韓国・済州特別自治道のオリエンタルホテルで「2017 NEAR実務者ワークショップ」が開催され、中国、日本、韓国、モンゴル、ロシアの40会員自治体から約100名の実務担当者が出席した。

同ワークショップは、会員自治体の実務担当者がNEARの活動についての意見交換や人的ネットワーク形成を行う場として2006年から開催しており、今年で12回目を迎えた。参加者数は延べ900人に上る。

今回のワークショップでは、事務局による業務報告、会員自治体の主要事業・行事紹介、NEARの懸案事項である「会費制の運営」「分科委員会の活性化」についての参加者の意見収集・討議が行われた。



連合の主要活動報告

まず、ロシア・イルクーツク州から第11回総会の開催結果が報告された。続いて、事務局が2016年度業務実績及び2017年度事業計画について説明し、2017年度の重点推進業務である「第11回NEAR実務委員会」「2017 NEAR国際フォーラム」「2017 北東アジア青年リーダーズフォーラム」「第5回青少年エッセイ・絵画等コンテスト」への会員自治体の積極的な協力を要請した。

また、分科委員会コーディネイト自治体である中国・山東省、山西省、日本・富山県、兵庫県、島根県から分科委員会活動報告が行われた。



会員自治体の発表

まず、議長団体である中国・湖南省が、9月に開催される実務委員会の開催計画を発表し、積極的な参加を要請した。続いて、参加自治体の国際行事・発展現況として、韓国・大邱広域市から「メディシティ大邱」、大田広域市から「アジア・太平洋都市首脳会議(APCS)」、忠清北道から「2017堤川国際漢方バイオ産業エキスポ」、慶尚北道から「ホーチミン・慶州世界文化エキスポ2017」の広報が行われた。モンゴル・スフバートル県は同県の現況を発表した。

主要議題討議

ワークショップでは、分科委員会の調整方案と、昨年の総会で導入が決定した会費制の運営について、参加者の意見収集・討議が行われた。

分科委員会の調整についての討議では、直近4年間に開催されていない分科委員会のコーディネート自治体交代・廃止、分科委員会の新設など、活動の活性化方案を議論した。会員自治体からは、「既存の分科委員会を効率的に運営するため、現地企業の視察や関連分野での人的交流が必要」「共同プロジェクトを推進するとともに、分科委員会開催費用の一部に会費を充当し、会員自治体の積極的な参加を促すべき」との意見があった。

会費制の運営(会費の用途)についての討議では、「全ての会員自治体が等しくメリットを享受することを目的として、分科委員会や、国際フォーラム等の事務局事業に会費を使用すべき」との意見が多く挙げられた。また、会費充当対象としての「優秀な分科委員会」の基準がこれまで明確に定義づけられていないことなどを踏まえ、事務局が具体的な案を準備した上で、再度会員自治体の意見を調査する必要があるという意見もあった。

事務局では、今回の討議内容や会員自治体の意見を積極的に反映した上で、再度調整を行っていくこととした。

現地視察

参加者らはユネスコ世界自然遺産の一つである「城山日出峰」を訪問し、済州の自然景観を満喫した。



The Association of Northeast Asia Regional Governments



北東アジア地域自治体連合

The Association of Northeast Asia Regional Governments

(37668)慶尚北道浦項市南区芝谷路394 浦項 テクノパーク本部棟3階

T. +82-54-223-2317 F. +82-54-223-2309 E-mail near@neargov.org Homepage www.neargov.org